

大江戸かわら版



21・老福連
第10回職員研究交流集会
ニュース創刊号

21・老福連第10回職員研究交流集会広報委員 発行

『おばあちゃんの原宿』でお会いしましょう!

全国の高齢者福祉に職員として携わっている皆さま、そして高齢者福祉に大いに関心のある皆さま、21・老福連の第10回職員研究交流集会在、来る11月27日(土)から11月29日(月)の3日間、東京で開催されます。

第2回職員研究交流集会在東京で開催されてから、天童市、広島市、京都市、浜松市、宇奈月温泉、大阪市、福岡市と年1回の開催を重ねて、また東京に戻って参りました。折しも、今年は介護保険制度が施行されて10年の節目であるとともに、2012年には医療・介護の同時改定期を迎える意味で、きわめて重要な年になります。

どうか多くの方々が参加され、介護保険10年の検証を行い、課題を確認し合い、そして今後の仕事に大いに役立てていただきたいと思います。

今回の会場となるのは、大正大学で、場所は西巢鴨です。巢鴨には有名な「とげぬき地蔵尊」(高岩寺)があり、心や体に病をもつ人がお参りする延命寺です。皆さま、ここに通じる巢鴨地蔵通りは「おばあちゃんの原宿」と呼ばれているのをご存知ですか? 「4」の日はとげぬき地蔵の縁日で、女性のお年寄りでごったがえし、満員電車顔負けの混雑になります。狭い道いっぱい屋台や露天の店が軒を連ね、「おばあちゃん」の購買意欲をそそります。お年寄りにはたいへんご縁の深いところです。

小さなお店が並ぶ巢鴨地蔵通りは、古き良き日本の風景と文化を漂わせ、参加される皆さまも、昔ながらの江戸商人のおもてなしの心意気とやさしさを感じ、きっと心を癒され、のんびりと気分も体も晴れやかになっていただきたいと思います。

近くには、江戸の有名な花見どころである飛鳥山公園、ソメイヨシノの発祥の地として名高い染井霊園、江戸六地蔵の四番目真性寺もあります。この辺りは、旧中山道が発点である日本橋からの最初の休憩所として商業や信仰の場として栄えたところなのです。

参加される職員が、「ああ、東京に来てよかった」と「自信と誇り」を取り戻して、笑顔でお帰りになることを心から願っております。

最後になりましたが、今回の会場設定は、大正大学の宮崎牧子教授の全面的なご協力のおかげで実現したものです。先生の行き届いたご配慮に対しまして、この場をお借りして深甚なる感謝の意をささげたいと思います。

第10回職員研究交流集会実行委員会 実行委員長
社会福祉法人アゼリヤ会 常務理事 相羽 孝昭



21・老福連 第10回職員研究交流集会 (2010年11月27日～29日) 東京大会会場の大正大学と、豊島区西巣鴨周辺状況



大正大学

大正大学

大正大学は大正15年に旧大学令に基づく大学として開学し、平成18年に創立80周年を迎えました。

創立以来変わらず大切にしてきた事、それが“思いやり”の精神です。他者を思いやること、受け入れること、結びつきを強めること、力をあわせること。

大正大学には、いつの時代も変わらない、人が人を思いやる温かい伝統が受け継がれています。(大学HPより抜粋)



巣鴨地蔵通商店街とは？

「おばあちゃんの原宿」と呼ばれる巣鴨地蔵通りは旧中山道にあり、江戸の中期から現在にいたるまで、商業や信仰の場として栄えてきました。

巣鴨地蔵通りは江戸時代、中山道の出発地点日本橋から出発して最初の休憩所が江戸六地蔵尊・眞性寺から巣鴨庚申塚の間に点在し、町並みが作られました。そして明治24年には、とげぬき地蔵尊・高岩寺が上野（現在のの上野の新幹線の駅近く）から巣鴨へ移転し、現在巣鴨地蔵通りは「とげぬき地蔵尊」と「江戸六地蔵尊」の2つのお地蔵様と巣鴨庚申塚に守られて、商業の街、信仰の街としてお年寄りを中心に若い年齢層にも親しまれています。

巣鴨地蔵通商店街

